

# 春の全国火災予防運動

3月1日(水)から7日(火)までの1週間は「春の全国火災予防運動」です。この季節は、空気が大変乾燥し火災の発生しやすい時期となります。火の取り扱いには十分注意し火災を防ぎましょう。

◆平成28年度全国統一防火標語◆ 「消しましょう その火その時 その場所で」

## 火災件数

平成27年の全国での火災件数は39,111件でした。これは、おおよそ1日あたり107件、13分ごとに1件の火災が発生したことになります。出火原因としては「放火」が最多で、続いて「たばこ」「コンロ」などとなります。また、逃げ遅れによる被害も多くなっていることから住宅用火災警報器の設置、維持管理をよろしくお願ひします。

## 市内の屋外での火災原因

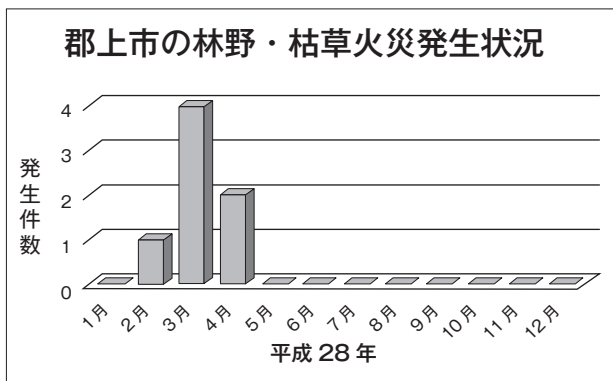
屋外でゴミの焼却中に飛び火し、付近の枯草に燃え移った火災が5件あります。枯草等を焼却中に予想以上に燃え広がり、周囲の枯草や河川敷に燃え移った火災が2件発生しました。

## 屋外の火災に注意!

- ▼火災になりやすい気象状況
- 空気が乾燥する
- 風の強い日が多い

## ▼火を使う機会が多くなる

- 山菜採りやレジャーでの入山
- 農作業
- 枯草の焼却



これからの時期は屋外での火の取り扱いによる枯草等の火災が発生する危険性が高くなります。特に今年は、冬期の降雪、積雪が少なく、例年より乾燥することが考えられます。ちよつ

とした不注意によるものが多く、一人ひとりが火の取り扱いに注意することで防ぐことができます。

屋外での火災を防ぐために、次のことに気を付けましょう。

▼燃えやすい物の近くで火を使わない

枯草等の近くで火を使えば、当然火災となる危険性も高くなります。そういった場所では焚き火等はもちろん、喫煙及び吸い殻の投げ捨て等は絶対にしないでください。

▼空気が乾燥し、風の強いときは屋外で火を使わない

このようなときは、周囲の枯草等に飛び火しやすく、火が広がってしまう可能性が高いため、火を使うことは止めましょう。

▼その場を離れない

火の取り扱い中にその場を離れたら、消火が不完全だったことにより火災となることが多くあります。火の取り扱い中は絶対にその場を離れないようにしましょう。確実に消火したことを確認しましょう。

☎ 問 消防本部  
67・01119

## 全国山火事予防運動

3月1日～3月7日

これからの季節は林野・枯草火災等が発生しやすい気象状況となります。また、一度林野火災が発生すると被害が大きくなりやすく、貴重な森林を消失させ、その回復には多くの費用と時間がかかります。郡上市の多くを占める森林は、自然環境の保全、土砂災害や洪水被害の防止、木材の供給といった私たちの生活に重要な役割を果たしています。かけがえのない森林を守るため、一人ひとりが火の取り扱いには十分注意して山火事を防ぎましょう。

山火事予防統一標語

～火の用心 森から聞こえる ありがとう～

火の用心





**【郡上市消防団員募集】**

**あなたの住んでる街のために  
あなたのチカラを  
かしていただませんか！**

**消防団とは**

消防団は消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。

現在、郡上市の団員数は1893人(うち支援団員1233人)で、各方面隊が連携を行い活動しています。女性消防団員は本

部に20人在籍し女性ならではのきめ細やかな対応で、地域に密着した活動を行っています。

**災害時の活動は**

◇消火活動

火災が発生すると、消防職員と協力して消火活動や近隣住民の安全確保、周辺の交通整理などを行います。消防職員よりも先に到着することもありますが、消火活動や消防職員の後方支援などその場にに応じて活動します。

◇救助活動

災害が起こった場合は、地域を知り尽くした消防団の救助活動は大きな力になります。大規模災害時には発生直後から地域と連携し、救助活動や避難誘導を行います。

◇水防活動

風水害の際には、河川等の警戒、土の積みなどの防災活動を迅速に行います。また、消防職員と協力して住民の避難や救助を行い、災害復旧作業も支援します。



**平常時の活動は**

◇消火・防災訓練

火災現場を想定した訓練(放水訓練等)を行っています。各地域で開催される防災訓練にも積極的に参加しています。

◇防火啓発活動

各家庭を訪問し、防災指導などの啓発活動を行っています。また、地域の高齢者のお宅を訪問したり災害時に救護が必要な人を把握したりすることも重要な役割です。

◇救命講習会

いざというとき住民が、病气やケガに素早く対応できるよう、AEDの使い方をはじめとした応急手当の普及・啓発を行っています。

**団員インタビュー**

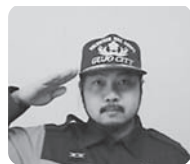
◇若い消防団員に聞いてみました。

Q① 消防団に入ったきっかけは？

Q② 平常時の活動は？

Q③ 消防団に入って良かったことは？

Q④ みなさんへメッセージをお願いします。



諸橋 有斗さん  
(八幡方面隊)  
団歴1年

A① 大火記念式典を見て地域を守りたいと思い入団しました。  
A② 毎月2回の機械器具点検を行っています。  
A③ 移住者ですが、地元のみなさんと繋がりができました。  
A④ 普段から防火・防災に気をつけて、地域を守っていきましょう。



大坪 武史さん  
(大和方面隊)  
団歴1年

A① 先輩団員に誘われ入団しました。  
A② 毎月1日・15日に防火パトロールを行っています。  
A③ 地域のみなさんと繋がりができました。  
A④ 入団して間もないですが、地域のみなさんが少しでも安心して暮らすことができるよう一生懸命頑張ります。



小島 新平さん  
(白鳥方面隊)  
団歴1年

A① 会社の先輩に誘われ入団しました。  
A② 地元の防火防災について目配りを行っています。  
A③ 地域のみなさんと交流する時間が増えました。  
A④ 消防団の出動がない安全な地域を作りましょう。



松井 志帆さん  
(本部)  
団歴2年

A① 職場の先輩団員に誘われ入団しました。  
A② 各消防訓練への参加やイベント等での火災予防啓発活動を行っています。  
A③ 救命講習など職場で生かすことができ、防災についても関心を持つようになりました。  
A④ 女性消防団お揃いの浴衣を着て、郡上おどりで火災予防を呼びかけませんか。

**消防団員募集**

みなさん一緒に愛する郡上を守りませんか。

仕事に就きながら、子どもを育てながら、地域の安全と安心のために力をあわせる消防団員。一人ひとりの想いと決意を地域のみんなの笑顔に！



**ファイヤー  
ボランティア**

入団手続等については左記または地元消防団員にお気軽にお問い合わせください。

消防本部消防課

67・1216

総務部総務課

67・1832 または各振興事務所振興課